

今治地方水と緑の懇話会 平成26年度活動報告 ～今治地域住民と次代を担う青少年による水源の森林整備事業～

【活動の概要】

目的は、未立木地に苗木植栽を行い水源涵養機能向上を図る水源の森造成と、同時に次代を担う子供たちに森林整備体験を通じて森林林業への理解を深めてもらうことである。また、以前の植栽活動地内における食害による苗木消失箇所へ補植、食害対策を行い成林を目指す。

主な活動は、次のとおりである。

11月25日雨天により屋内活動を実施（地域住民で構成される会員、今治市立日吉小学校5、6年生児童35名のほか、愛媛県職員、今治市職員等約70名が参加）

①森林教室（今治市職員による指導）

②木工体験（今治市職員による指導。ヒノキの枝を使ってストラップづくり）

③竹細工体験（会員による指導。竹とんぼづくり）

12月17、19、22日（会員、今治市職員による）

④植栽、食害防止チューブ設置

（ケヤキ苗170本植栽、食害防止チューブ170本設置。ケヤキ根巻苗H=3m3本植栽。）

⑤補植、食害防止チューブ設置

（ケヤキ苗30本、クスギ苗50本補植、食害防止チューブ80本設置。植栽済苗木に食害防止チューブ50本設置）

【事業成果等】

小学生児童の参加日は、雨天により屋内活動となったが、今治市職員から、度重なる水害から上流地域への植林を始めた今治市の森づくりの歴史や、森林がない状態の山土と森林の土壌で、保水力や降雨の影響がどのように違うのか実験も交え説明を受け、森林が持つ多面的な機能への理解を深めた。木工体験では、ノコギリやキリを使ってヒノキの枝からストラップを作り、木と親しみ、木の良さを実感してもらうことができた。また、当地域では放置竹林が拡大しているため、問題点を説明するとともに、竹の利用拡大につながるよう竹とんぼづくりを実施した。

前回植栽活動での怪我の発生を教訓に、歩道整備、枯れ松除去など植栽箇所の安全対策を行い、ファーストエイドキットの充実を図った。

【評価等】

計画箇所への苗木植栽はできたが、天候が当初の植栽予定日は雨、次の予定日は風雪となり、移動や作業の安全性を考慮したため、ある程度山に慣れた人達による植栽活動となった。しかし、植栽地、補植地は、林道沿いの人目につきやすい場所であるため、今後の管理をしっかりと行うことにより植栽木が順調に成長していけば同様の活動が広がっていくと思われる。植えて終わりではなく、食害状況、雑草の状況などを注意深く経過観察し有効な植栽方法、保育作業を探っていく必要がある。

【参加者の声】

・ストラップは上手にできた。ヒノキのいい香りがしてぬくもりがある。森の大切さも良く分かった。（小学生、新聞報道より）

・ジョウロで水をかけると、マサ土がくずれていったので、マサ土だと土砂災害になりやすいことがわかった。（小学生）

・今まで知らなかった森の歴史が、写真と説明でよくわかった。（小学生）


・森の大切さがよくわかり、これからも守り受けついでいこうという気持ちが強くなった。（小学生）

【実績とりまとめ表】


実施時期	作業/量	11月25日	12月17, 19日	12月19, 22日	計	備考 (適宜記載)	
作業内容	植付面積	ha	0.10ha	ha	0.10ha		
	植付本数	本	173本	本	173本	ケヤキ170、ケヤキ大3	
	植付本数	本	本	80本	80本	補植 (ケヤキ30、クヌギ50)	
	樹勢回復	本	本	本	本	(樹種等)	
	下刈面積	ha	ha	ha	ha		
	除伐面積	ha	ha	ha	ha		
	間伐面積	ha	ha	ha	ha		
	その他						食害対策は、食害防止チューブを設置。 森林教室は、市有林整備の歴史、木工体験、竹とんぼづくり等。
	食害対策		170本	130本	300本		
	森林教室	1回			1回		
参加者数	県内	71人	12人	3人	86人		
	県外	0人	0人	0人	0人		
	計	71人	12人	3人	86人		
実施場所	愛媛県今治市玉川町鈍川および玉川町畑寺 今治市市有林内						


【活動状況】

↓ 森林教室




↓ 森林教室 (実験)






← 木工体験 (小枝のストラップづくり)



竹細工体験 (竹とんぼづくり) →



← 植栽活動状況

↓ 植栽状況 (ケヤキ苗、食害防止チューブ設置)

